



キックオフ

国際理解学習（JICA海外協力隊）

11月7日の土曜授業は「国際理解学習」でした。

1 限目は、JICA（国際協力機構）事務局の
 やなぎ ひろみ
 柳 博美さんから、世界の情勢や JICA の活動について学びました。「世界で6秒に1人が5歳になる前に亡くなっている」という事実に衝撃を受けましたね。

2 限目は各クラスに分かれて、JICA 海外協力隊に参加し、外国での生活やボランティア活動を体験された方に来ていただいて、体験談などを話していただきました。



	名前	派遣国
1 組	やなぎ ゆりか 柳瀬 反梨香 さん	ベトナム
2 組	あいかわ かな 相川 香菜 さん	ガーナ
3 組	おか ゆうき 岡 優樹 さん	セントビンセントおよびグレナディーン諸島
4 組	ながと だいすけ 長渡 大介 さん	フィジー
5 組	さえき ゆりか 佐伯 侑梨加 さん	モルディブ
6 組	はたけやま こう 畠山 恒 さん	バングラデシュ

国際理解学習の感想

- ご飯を食べたり、水を飲んだりできるのは当たり前だと思っていたけど、僕たちが当たり前だと思っていることをできなかったりしている事実を知って、ご飯や水などがあることを感謝していきたいと思います。世界には学校に行きたくても行けない、勉強したくてもできない子がいっぱいいるのに、学校に行きたくないと言っている自分はずかしくなりました。気持ちを改めて、世界の学校にいけない子の分も、一生懸命勉強したいなと思いました。（3組 男子）

- バングラデシュに行った畠山先生の話聞いて、すごく納得したものがいくつも
ありました。なかでも、物乞いをしてる子どもにお金をあげるかあげないかの
選択の方法で、子どもたちと話をして自分なりに納得した理由があるならあげる
というもので、最初から決めるのではなく自分の考えを状況に応じてできること
がすごいなと思いました。またもう一つ
は、言葉がうまく通じないという壁があ
る中で、その壁を絡まった糸という考え
方をしていることです。壁はこわすしか
ないけど、糸ならいろいろな方向からほ
どけばいい、つまりいろいろな解決方法
があるということを知りました。

(6組 男子)



- 「モルディブ」という国名を聞いて、私は聞いたことない国で、ますます興味を
持ちました。モルディブでは「ディベヒ語」を使
って話したりするそうで、ディベヒ語は右から読
むので日本とは違うことを知りました。それと、
モルディブでは「運動会」や「オリンピック」を
生徒たちが知らなかったということに、私はおど
ろきました。オリンピックはテレビであまり放送
されないみたいで、何だかもったいないなあと思
いました。

※ディベヒ語で名前を書いてもらいました👉

(5組 女子)

- 私は海外や遠い場所に行ったことがなかったし、授業などでしか他の国のことを
知る機会がなかったので、正直、他人事というか、他の国の問題なんて自分には
関係ないと思っていました。ですが今日の話聞いて、生活習慣などの大きな違
いや、環境などの問題を知ってびっくりしました。このことにもびっくりしたの
ですが、人の役に立ちたいと思って他の国に住み、現地の人と暮らすということ
はすごく勇気のいることだし、自分にはとても出来ることではないと思いました。
日本も戦後などで支援を受けていたのを聞くと、他国とのつながりは大事なのだ
と思いました。飢えや病気などで6秒に1人が亡くなっている現状を変えられ
たら・・・と思いました。自分にはまだ何がで
きるかはわかりませんが、人々や私たちが
暮らしやすい世界になるために自分も協力
していきたいと感じました。人のために何
かをするということはカッコいいと思いま
した。自分も人の役に立つ仕事につきたい
と思いました。

(4組 女子)



期末テスト1週間前です。準備を進めましょう!